

令和2年3月市議会定例会
環境部
議案説明資料
(当初予算分)

目次

【予算案件】

1	令和2年度環境部所管予算(案)総括表	1頁
2	チームとやまし推進事業について	2頁
3	太陽光発電システム及び省エネ設備等導入補助事業について	3頁
4	海洋ごみ対策推進事業について	4頁
5	環境未来都市推進事業について	5頁
6	えごま6次産業化推進事業について	6頁
7	SDGs推進事業について	7頁
8	国際展開支援事業(JICA関係)について	8頁
9	国際展開支援事業(JCM関係)について【拡充】	9頁
10	PCB廃棄物の掘り起こし調査事業について	11頁
11	富山市斎場再整備事業について	12頁
12	カラス対策事業について【拡充】	13頁
13	資源物ステーション運営事業について	14頁
14	廃棄物分別回収推進事業について	15頁
15	ごみ集積場環境整備事業について	16頁
16	つばき園維持管理事業(施設の再整備)について	17頁
17	公衆便所維持管理事業について【新規】	18頁

1 令和2年度 環境部所管予算（案）総括表

【一般会計】

(単位：千円、%)

区分 予算科目(款・項)	令和2年度 当初予算(案) A	令和元年度 当初予算 B	対前年度比較	
			増減額 A - B	増減率 A / B
環境部 合計	3,851,782	3,975,852	△ 124,070	96.9
(款4) 衛生費	3,851,782	3,975,852	△ 124,070	96.9
(項2) 環境衛生費	3,851,782	3,975,852	△ 124,070	96.9

【地球温暖化対策推進事業費】

2 チームとやまし推進事業について

[環境政策課]

1 予算額 9, 876千円

財源内訳	国庫支出金（地球温暖化対策推進事業費補助金）	5, 250千円
	ふるさとぬくもり基金	2, 326千円
	一般財源	2, 300千円

2 目的

低炭素社会の実現に向け、市民、事業者、行政等が連携協力する市民総参加型のプロジェクト「チームとやまし」の取組みについて、地球温暖化対策の国民運動「COOL CHOICE」とも連携を図り、さらなる事業を推進するもの。

3 事業内容

- (1) COOL CHOICE普及啓発事業費 7, 000千円
省エネ家電やエコ住宅の選択など、身近な生活の中での「COOL CHOICE（＝賢い選択）」をテーマとした関連イベント等を実施し、市民に一人ひとりが取り組む地球温暖化防止活動の大切さを周知するもの。
- (2) 緑のカーテン推進事業 481千円
環境教育の一環として、保育所等に緑のカーテンを設置するほか、市民向けに「緑のカーテン育て方講習会」を開催し、緑のカーテンの普及啓発を図るもの。
- (3) チームとやましホームページ改修費等 1, 471千円
- (4) 事務費 924千円

【新エネルギー推進事業費】

3 太陽光発電システム及び省エネ設備等導入補助事業について

[環境政策課]

- 1 予算額 22,814千円
- | | | |
|------|------|----------|
| 財源内訳 | 一般財源 | 22,814千円 |
|------|------|----------|

2 目的

家庭から排出される温室効果ガスの削減を図るため、住宅等への再生可能エネルギーの導入及び省エネルギー化を推進するもの。

3 事業内容

自然エネルギー等を利用した住宅用設備の設置者に対して補助を行う。

なお、住宅用太陽光発電システムとあわせて、HEMS、エネファーム、蓄電池を新たに一括して設置した場合には、5万円を加算して補助するもの。

	補助対象設備	補助金額 (1件)
1	住宅用太陽光発電システム(2kw以上)	5万円
2	HEMS(家庭用エネルギー管理システム)	1万円
3	太陽熱利用システム (水や不凍液などを熱媒として熱交換を行う設備)	3万円
4	ペレットストーブ(木質ペレット燃料使用)	5万円
5	エネファーム(家庭用燃料電池)	5万円
6	蓄電池	5万円
7	地中熱利用システム (地中と外気との温度差を利用する空調設備)	10万円

[参考] 補助実績

(単位:件)

	設備名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度 (1月末現在)
1	住宅用太陽光発電システム	322	399	247	236	159
2	HEMS	32	42	37	73	56
3	太陽熱利用システム	1	0	0	1	0
4	エコウィル	2	0	0	0	—
5	ペレットストーブ	29	16	17	25	18
6	エネファーム	26	52	85	73	14
7	蓄電池	67	46	61	106	90
8	地中熱利用システム	0	0	0	0	0
9	一括導入上乗せ加算	—	—	1	11	2

【海洋ごみ対策推進事業費】

4 海洋ごみ対策推進事業について

[環境政策課]

1 予算額 23,000千円

財源内訳	県補助金（海岸漂着物対策事業費補助金）	16,100千円
	一般財源	6,900千円

2 目的

海洋プラスチックごみ対策の一環として、市内の準用河川や農業用水に網場を本格設置するなど、プラスチックごみ等の海への流出抑制対策を実施するもの。

3 事業内容

- (1) 網場の本格設置及び効果検証
- (2) 網場設置河川でのごみ発生、滞留状況の実態調査
- (3) 流域住民への海洋ごみに関するアンケート調査
- (4) 海洋ごみに関する環境教育、普及啓発活動の実施

【環境未来都市推進事業費】

5 環境未来都市推進事業について

[環境政策課]

1 予算額 1, 837千円

〔 財源内訳 一般財源 1, 837千円 〕

2 目的

富山市環境未来都市計画及び富山市環境モデル都市行動計画に掲げた取組みのフォローアップを行い、各計画を着実に推進するとともに、その成功事例を国内外に普及展開を図るもの。

3 事業内容

(1) 環境未来都市関連 837千円

- ・環境未来都市推進協議会の運営に係る経費
- ・環境未来都市計画の推進及び普及啓発に係る経費

(2) 環境モデル都市及びエネルギー効率改善計画関連 1, 000千円

- ・環境モデル都市行動計画及びエネルギー効率改善計画のフォローアップに係る経費

【環境未来都市推進事業費】

6 えごま6次産業化推進事業について

[環境政策課]

1 予算額 13,251千円

〔 財源内訳 一般財源 13,251千円 〕

2 目的

えごまの効能及び「富山えごま」の認知度を高めるCMの放送や、試食会等のイベントを実施し、普及啓発を図ることにより、えごまの6次産業化を推進するもの。

3 事業内容

- | | |
|------------------------------|---------|
| (1) 「富山えごま」普及展開業務 | 7,000千円 |
| ・テレビ、ラジオCM制作・放送 | |
| ・CMと連動したチラシ・ポスター等の制作 | |
| (2) えごま6次産業化プラットフォーム推進業務 | 6,000千円 |
| ・市民向け普及啓発イベントの開催 | |
| ・SNS等を活用したえごまのレシピや効能に関する周知啓発 | |
| ・物産展におけるプロモーション事業 | |
| (3) えごま普及啓発のための広報とやま特集号掲載 | 251千円 |

【SDGs推進事業費】

7 SDGs推進事業について

[環境政策課]

1 予算額 89,442千円

財源内訳	国庫支出金（地方創生推進交付金等）	49,000千円
	市債（防災・減災国土強靱化緊急対策事業）	14,000千円
	一般財源	26,442千円

2 目的

富山市SDGs未来都市計画に位置付けられた、SDGsモデル事業及び普及啓発事業について、継続的に取組むとともに、次期計画の策定を行うもの。

3 事業内容

- (1) SDGsモデル事業の実施 42,000千円
 - ・地域再生可能エネルギー導入による地産地消促進事業
 - ・梨剪定枝等のバイオマス利活用実証事業
 - ・ナノ粒子化技術を活用した産業イノベーション創出事業
 - ・SDGs普及啓発展開事業

- (2) 婦中体育館における自立・分散型エネルギー設備導入 42,000千円
 - ・太陽光システム、定置型蓄電池等の設備導入

- (3) 富山市SDGs推進事業補助金 1,000千円
 - ・企業、団体等によるSDGs推進事業への補助

- (4) SDGs未来都市計画のフォローアップ及び改定 3,000千円
 - ・「富山市SDGs未来都市計画」のフォローアップの実施及び改定版の作成

- (5) その他普及啓発事業 1,442千円
 - ・環境関連イベントへのPRブース出展
 - ・SDGs普及啓発パンフレットの作成
 - ・広報とやま特集号掲載 等

【国際展開事業費】

8 国際展開支援事業（JICA関係）について

[環境政策課]

1 予算額 13,083千円

財源内訳	諸収入（JICA中小企業支援事業）	8,583千円
	一般財源	4,500千円

2 目的

「SDGs 未来都市」として国際連携を推進するため、独立行政法人国際協力機構（JICA）の事業を活用した市内企業の技術・ノウハウの海外への普及・展開を支援することで、国外の都市が抱える課題解決を図るもの。

3 事業内容

市は、JICA事業が円滑に行えるよう、現地政府機関や関係者との交渉窓口として調整を図ることにより、市内企業を支援するもの。

(1) JICA普及・実証事業

① 精米機展開支援事業 [タバナン県] 4,538千円
米の品質低下等による農業衰退の問題を解消するため、高性能の小型もみすり精米機を導入することで農家の所得向上を図るもの。

② 廃棄物処理展開支援事業 [タバナン県] 5,128千円
ごみ処分場の容量不足や衛生問題を解消するため、有機廃棄物の堆肥化プラントを導入し、生ごみから良質な堆肥を製造して農業に活用するもの。

(2) JICA案件化調査事業

① ガス供給展開支援事業 [バリ州] 3,417千円
大気汚染や設備の整備不良によるガス事故等の問題を解消するため、天然ガスの供給インフラの高度化を図ることで、石油から天然ガスへの転換を促進し、安全・安心な都市環境の実現を目指すもの。

【国際展開事業費】

9 国際展開支援事業（JCM関係）について【拡充】

[環境政策課]

1 予算額 19,841千円

財源内訳	諸収入（JCM調査事業）	12,124千円
	一般財源	7,717千円

2 目的

環境省や経済産業省による「JCM（※）調査」及び「JCM設備補助」を活用し、市や市内企業の技術・ノウハウの普及・展開や、国外の都市が抱える課題解決を図り、脱炭素社会の実現を促進するもの。

（※）JCM（二国間クレジット制度）は、途上国への優れた低炭素技術等の普及を通じ、地球規模での温暖化対策に貢献するとともに、我が国の削減目標達成に活用するもの。

3 事業内容

市は、JCM事業が円滑に行えるよう、現地政府機関や関係者との交渉窓口として調整を図ることにより、市内企業を支援するもの。

（1）JCM調査

- ① バリ州 [インドネシア共和国] 2,573千円
世界的観光都市であるバリ州において、ホテルの省エネ機器や天然ガス設備等の導入可能性調査を行うもの。
- ② スマラン市 [インドネシア共和国] 2,505千円
インドネシア有数の都市であるスマラン市において、ホテルや工場への省エネ機器等の導入可能性調査を行うもの。
- ③ バンダ・アチェ市、トビン・ティンギ市 [インドネシア共和国] 2,027千円
スマトラ島の2都市において、再生可能エネルギー（水力・太陽光等）等の導入可能性調査を行うもの。
- ④ コタキナバル市 [マレーシア]【新規】 2,462千円
都市間連携協定を締結しているコタキナバル市において、再生可能な省エネルギー技術等の導入可能性調査を行うもの。

- ⑤ レンカ区 [チリ共和国] 【新規】 1, 937千円
都市間連携協定を締結しているレンカ区において、再生可能な省エネルギー技術等の導入可能性調査を行うもの。

(2) 二国間クレジット制度設備補助事業 (JCM設備導入)

- ① バリ州 2, 875千円
ホテルや商業施設への高効率空調機器、太陽光発電設備等の導入により、化石燃料の使用量を削減し、温室効果ガスの排出削減を図るもの。
- ② スマラン市 2, 751千円
工場や商業施設への高効率空調機器、太陽光発電設備等の導入により、化石燃料の使用量を削減し、温室効果ガスの排出削減を図るもの。
- ③ バンダ・アチェ市、トビン・ティンギ市 【新規】 2, 711千円
市の施設等への高効率空調機器、太陽光発電設備等の導入により、化石燃料の使用量を削減し、温室効果ガスの排出削減を図るもの。

【産業廃棄物処理対策推進費】

10 PCB廃棄物の掘り起こし調査事業について

[環境政策課]

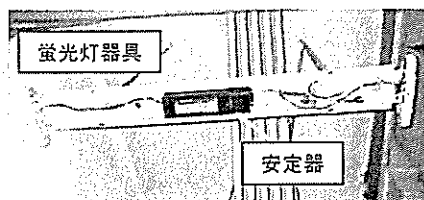
1 予算額 6,497千円

財源内訳	手数料（産業廃棄物処理業等許可申請手数料）	1,393千円
	一般財源	5,104千円

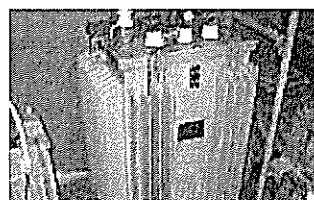
2 目的

「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」により、高濃度PCB廃棄物を保有する事業者等は、令和5年3月31日までに使用中のものを含め全て処分しなければならないと定められているため、国の調査マニュアルに従い、PCB廃棄物の掘り起こし調査を実施するもの。

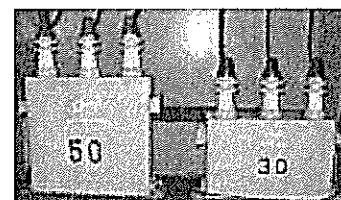
PCBとは、人工的に合成された主に油状の物質で、蛍光灯安定器や変圧器、コンデンサー等の電気機器の絶縁油として使用されていたが、有毒性が判明し、現在は製造が禁止されている。



蛍光灯安定器



変圧器



コンデンサー

3 事業内容

(1) PCB廃棄物の掘り起こし調査

① PCB含有安定器（蛍光灯等）

内 容 令和元年度のアンケート調査において、未回答であった事業者等を対象に郵送、電話、訪問によるフォローアップ調査を行うもの。

対 象 市内事業者（約4,100件）

② 自家用工作物（変圧器・コンデンサー等）

内 容 これまでアンケート調査の依頼を繰り返しお願いしたにもかかわらず回答のない事業者へ最終的な通知文書を送付するもの。

対 象 自家用工作物設置者（約300件）

(2) 北海道PCB廃棄物処理事業に係る広域協議会及び環境研修プログラム参加

内 容 PCB廃棄物の確実かつ早期処理に向けて、東日本の政令指定都市及び中核市が協議会の構成員となり、掘り起こし調査の進捗等の情報共有を行うもの。

【斎場管理費】

1 1 富山市斎場再整備事業について

[環境保全課]

1 予算額 6,600千円

〔 財源内訳 一般財源 6,600千円 〕

2 目的

著しく老朽化が進む富山市斎場について、将来にわたり支障なく火葬業務が実施できるようPFI手法を用いた再整備を進めるもの。

3 事業内容

富山市斎場再整備事業において、PFI事業者が実施する建設業務の確実な履行を確認するモニタリングに必要な技術的支援を受けるための業務を委託する。

富山市斎場再整備事業に係る建設モニタリング業務委託

- ・ 建設工事に係る計画書、報告書及び現地確認業務の技術的支援（要求水準の確認支援）
- ・ PFI事業者との建設工事に係る定例会議の出席と市への技術的な助言

【環境保全事務費】

1 2 カラス対策事業について【拡充】

[環境保全課]

1 予算額 28,515千円

〔 財源内訳 一般財源 28,515千円 〕

2 目的

都心部では、夕暮れ時に多くのカラスが群舞する光景やふん害がみられ、都市景観の悪化が懸念される。このことから、カラスの個体数を減少させるため、広報による市民啓発を行うとともに、富山市中心市街地カラス対策推進業務として、都心部のカラスの捕獲等に重点的に取り組むなど、都市のイメージアップを図るもの。

3 事業内容

(1) 市民への啓発 115千円

カラスの餌となる食べ物の量を減らす対策について、啓発記事を広報に掲載し、市民に協力を呼びかける。

(2) 捕獲

① 富山市中心市街地カラス対策推進業務 25,350千円

・ 檻による捕獲

城址公園内の6基、市役所、県庁、県民会館等中心市街地の5基、大山地域の1基、郊外に増設する1基の計13基で捕獲を強化する。

・ 営巣期間中のカラスの巣の撤去

・ カラスの鳴き声発生装置による誘導捕獲実験【新規】

② 狩猟期間中の銃器による捕獲 582千円

(3) 城址公園周辺のカラス生息数の調査 2,468千円

・ 毎年2月の生息数調査に加え、夏季生息数調査を実施する。

[参 考] 捕獲実績

(単位:羽)

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
生息数	5,983	6,538	7,500	6,568	4,482	3,996	3,330	3,611	3,070	調査中
捕獲数	1,925	1,671	920	1,525	1,702	965	607	2,027	2,330	2,499

※令和元年度の捕獲数は令和2年1月末現在(卵43個含む)である。

富山市中心市街地カラス対策推進業務開始後の捕獲数

(単位:羽)

檻による捕獲強化、巣の撤去	1年目 (H29.10~H30.9)	2年目 (H30.10~R元.9)	3年目 (R元.10~R2.1)	累 計 (28ヶ月間)
		2,355	2,459	1,069

【ごみ減量化・資源化推進事業費】

1 3 資源物ステーション運営事業について

[環境センター管理課]

1 予算額 11,544千円

財源内訳	諸収入（古紙売却収入等）	3,701千円
	一般財源	7,843千円

2 目的

資源物の排出機会の拡大を図るため、土曜日、日曜日及び祝・休日に持ち込める資源物ステーションを市内8か所に開設し、ごみの減量化・資源化を推進するもの。

3 事業内容

資源物ステーションにおいて回収する品目

- ①空き缶 ②空きびん ③ペットボトル ④プラスチック製容器包装
- ⑤紙製容器包装 ⑥新聞 ⑦雑誌（雑紙） ⑧段ボール
- ⑨布類（衣類のみ） ⑩小型廃家電（パソコン含む）
- ⑪水銀使用製品（蛍光灯、体温計等）

- (1) 資源物ステーションの運営 7,843千円
・受付員業務委託費及び集積倉庫借上料等
- (2) 布類リユース処理業務委託 910千円
・衣類を「ウエス」としてリユースする。
- (3) 小型廃家電処理業務委託【変更】 2,032千円
・使用済み小型電子機器等を鉄やその他金属などにリサイクルする。
・有償での売却から委託処理へ変更になったもの。
- (4) 水銀使用製品の処理業務及び運搬委託 759千円
・蛍光灯等をガラスやアルミなどにリサイクルする。

【廃棄物分別回収推進事業費】

1 4 廃棄物分別回収推進事業について

[環境センター管理課]

1 予算額 648,944千円

[財源内訳 諸収入（資源有価物広域圏売却収入等）	70,507千円
	一般財源	578,437千円

2 目的

家庭から排出されるごみと資源物を分別回収し、ごみの適正処理と資源物の再生利用を図り、循環型社会の構築を推進するもの。

3 事業内容

- (1) 回収専用容器購入費等 4,970千円
- (2) 収集運搬委託料 643,974千円

回収内容等

廃棄物の種類		収集回数	収集主体
燃やせるごみ		週2回	直営・委託
燃やせないごみ		月2回	直営・委託
資源物	空き缶	月2回	直営・委託
	空きびん	月2回	委託
	ペットボトル	・拠点回収（随時） ・ステーション （月1回～月4回）	委託
	プラスチック製容器包装	月4回	委託
	紙製容器包装・古紙	月1回	委託

【地域環境美化推進事業費】

1 5 ごみ集積場環境整備事業について

[環境センター管理課]

1 予算額 10,000千円

財源内訳	一般財源	10,000千円
------	------	----------

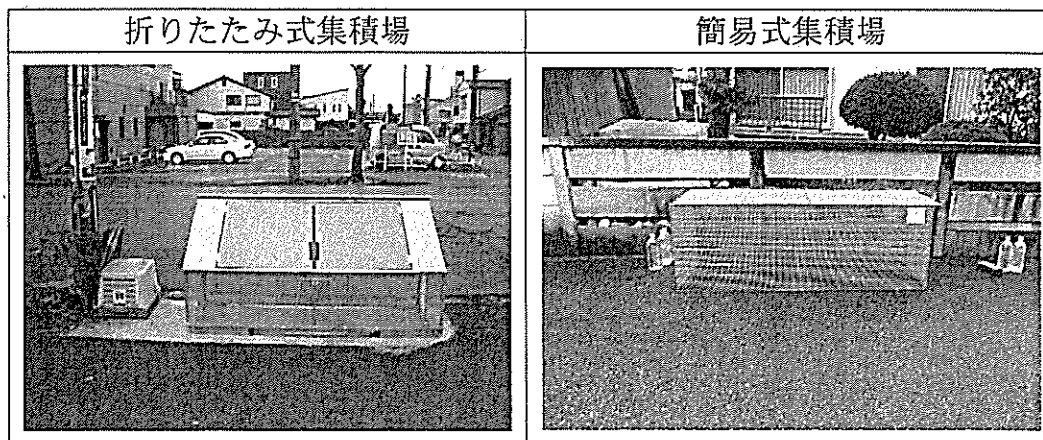
2 目的

ごみ収集作業の効率化及び、カラスの餌となるごみの散乱の防止等、生活環境の保全を図るため、固定式・折りたたみ式ごみ集積場の設置並びに、簡易式ごみ集積場の購入に対して、富山市ごみ集積場整備事業補助金交付要綱に基づき補助金の交付を行うもの。

3 事業内容

固定式・折りたたみ式ごみ集積場の設置や簡易式ごみ集積場を購入した場合に補助率2分の1（限度額有）の補助金を交付するもの。

種 類		補助限度（1箇所当り）	予 算 額
固定式	新設	200千円	6,000千円
	統合	300千円	850千円
折りたたみ式		100千円	2,250千円
簡易式		10千円	900千円



〔参 考〕 補助実績

（単位：箇所数・基数）

種 類		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
固定式	新設	40	45	37	32	29	26
	統合	5	3	2	4	5	5
折りたたみ式		42	36	32	37	32	11
簡易式		—	—	—	15	84	72

※令和元年度の実績数は、令和2年1月31日現在
簡易式は、平成29年10月1日から補助対象

【つばき園費】

1 6 つばき園維持管理事業（施設の再整備）について

[環境センター管理課]

1 予算額 20,000千円

〔 財源内訳 一般財源 20,000千円 〕

2 目的

つばき園（浄化槽汚泥専用処理施設）は、竣工から30年が経過し、老朽化が進んでいることから、施設更新を視野に、今年度において施設整備基本構想を策定している。

基本構想を踏まえ、現在の敷地内において新たに整備することとし、できる限りダウンサイジングを図り、コンパクトな施設でシンプルな処理方式（焼却処理ではなく下水道放流）とする方針で再整備を図り、令和5年度末の完成を目指すもの。

3 事業内容

測量・地質調査を行い、基本計画を作成する。

- | | |
|-----------------|----------|
| (1) 測量・地質調査業務委託 | 10,000千円 |
| (2) 基本計画作成業務委託 | 10,000千円 |

【公衆便所維持管理費】

1 7 公衆便所維持管理事業について【新規】

[環境センター管理課]

1 予算額 34,000千円

財源内訳	国庫支出金（社会資本整備総合交付金）	85千円
	市債（公衆便所整備事業債）	29,600千円
	一般財源	4,315千円

2 目的

路面電車南北接続により、中心市街地への人の往来が活発化することが見込まれることや、本市が進めている高齢者等の外出機会の拡大を図る施策の後押しとして、中心市街地に位置し老朽化が進んでいる山王町街路便所の改築を行い、公共施設としての利便性を総合的に高める。

3 事業内容

山王町街路便所は、設置後50年余り経過し老朽化が進んでいることに加え、男女兼用で女性の利用が困難な状態であることや、バリアフリー対応がされていないことから、現在の施設を取り壊し、多目的用（オストメイト対応等）、男性用、女性用トイレを設け、誰もがいつでも安心して利用できる公衆便所に改築するもの。

(1) 設計及び工事監理業務委託	3,500千円
(2) 工事請負費	30,500千円